

令和 6 年度

「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

沖縄・観光分野における有機的高専連携プログラム開発・実証事業

観光系大学専門学校生のキャリア教育実態調査報告 ダイジェスト版

令和 7 年 1 月

質問紙調査対象校

＜静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校＞

＜沖縄キリスト教学院大学＞

＜irc インターナショナルリゾートカレッジ＞

グループ面接調査対象校

＜沖縄キリスト教学院大学＞

＜irc インターナショナルリゾートカレッジ＞

学校法人 KBC 学園

インターナショナルリゾートカレッジ

本調査は、文部科学省の専修学校による地域産業中核人材養成事業による委託事業として、学校法人KBC学園インターナショナルリゾートカレッジが実施した、令和 6 年度「沖縄・観光分野における有機的高専連携プログラム開発・実証事業」の教育効果測定のために実施したものです。

質問紙調査編

1 観光系大学専門学校生のキャリア教育実態調査結果

1.1 調査概要

令和 6 年 9 月～11 月の期間で、観光系学部学科のある大学 1 校、専門学校 2 校の学生を対象に web 調査を実施した。

地域については、大学：沖縄県、専門学校：沖縄県・静岡県で行った。

日時 令和 6 年 9 月 4 日～18 日

方法 web 調査

地域 静岡県

対象 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 1 年生

人数 75 名

日時 令和 6 年 10 月 21 日

方法 web 調査

地域 沖縄県

対象 沖縄キリスト教学院大学 1 年生

人数 45 名

日時 令和 6 年 11 月 5～8 日

方法 web 調査

地域 沖縄県

対象 irc インターナショナルリゾートカレッジ 1・2・3 年生

人数 84 名

※各大学・専門学校の設置学部学科

学校法人静岡理工科大学 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校

エアライン科(客室乗務員コース・グランドスタッフコース)

総合観光サービス科

ホテル・ブライダル科

グローバルビジネス科

コンシェルジュ科

国際ホスピタリティ科

沖縄キリスト教学院大学

人文学部 観光文化学科(令和 6 年 4 月設置)

学校法人 KBC 学園 インターナショナルリゾートカレッジ

エアライン科(キャビンアテンダントコース・グランドフタッフコース・グランドハンドリングコース)

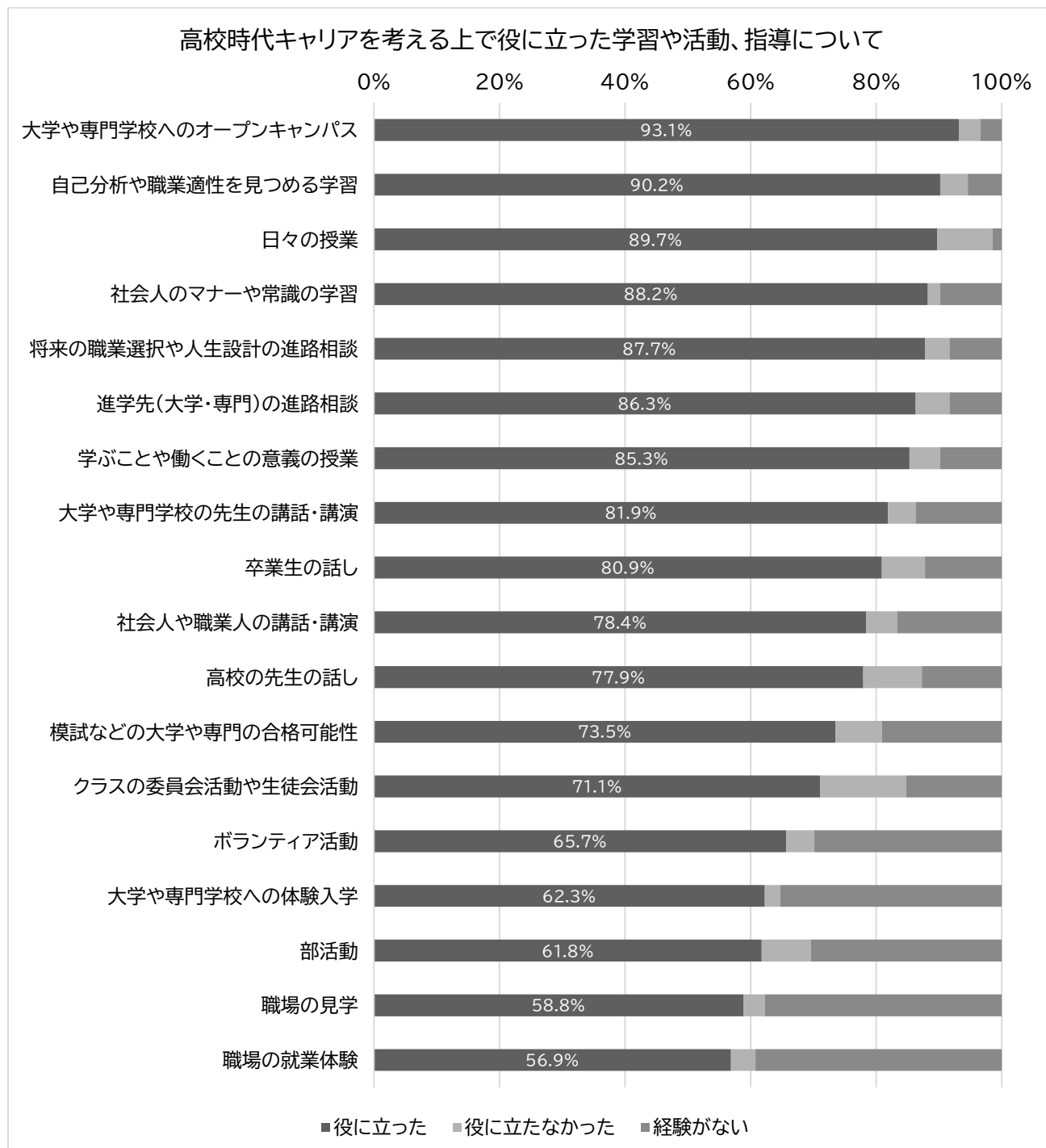
外語ビジネス科

ブライダル・ホテル科

1.2 高校時代に、キャリアを考える上で役に立った学習や活動、指導などの体験

オープンキャンパスは93.1%の学生が役に立ったと回答した。

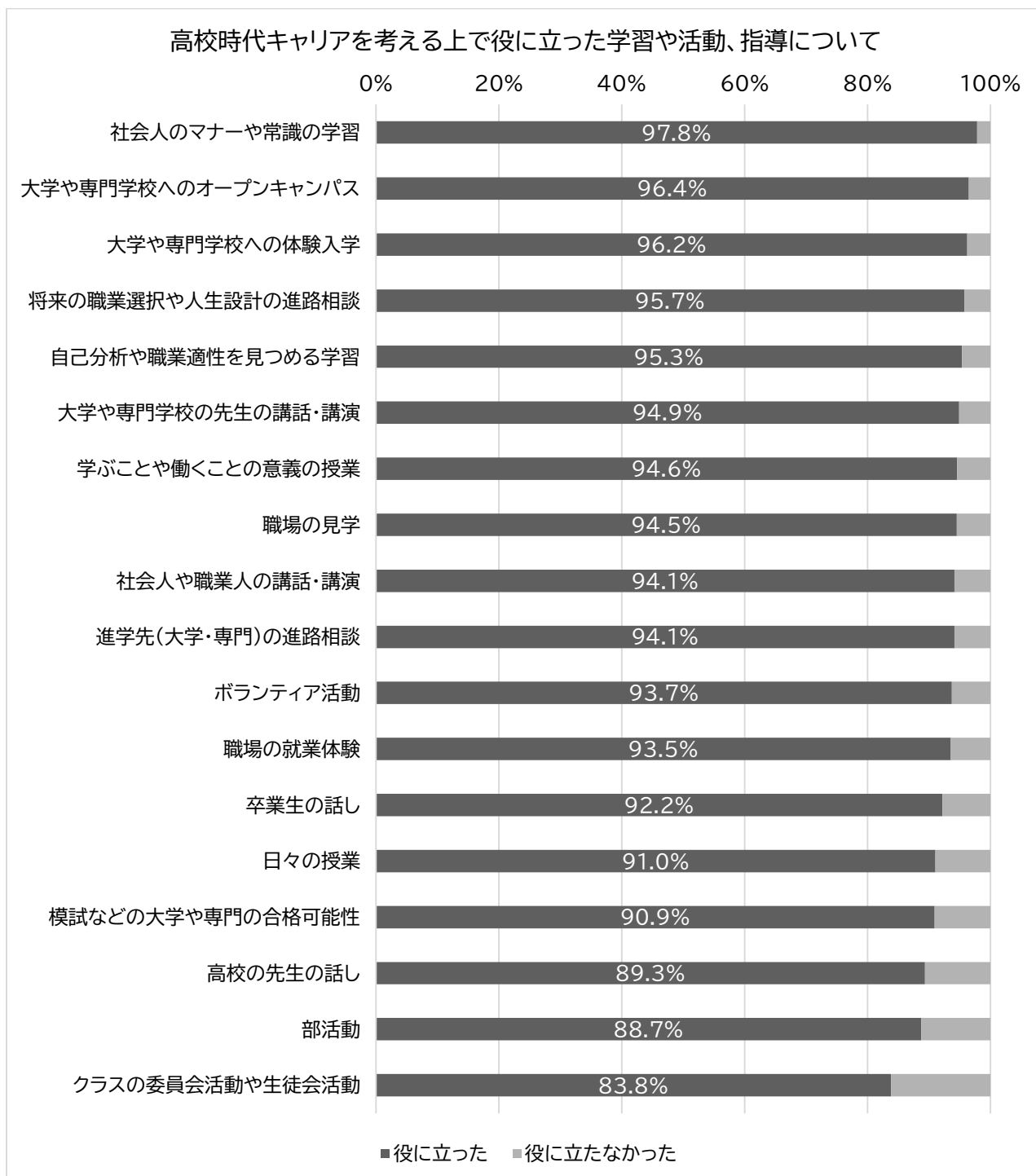
一方、「職場の就業体験」、「職場の見学」、「大学や専門学校の体験入学」「部活動」「ボランティア活動」の経験がない学生が30%を超えた。



未体験のものを除いた「役に立った-役に立たなかった」比率は、以下の通りになった。

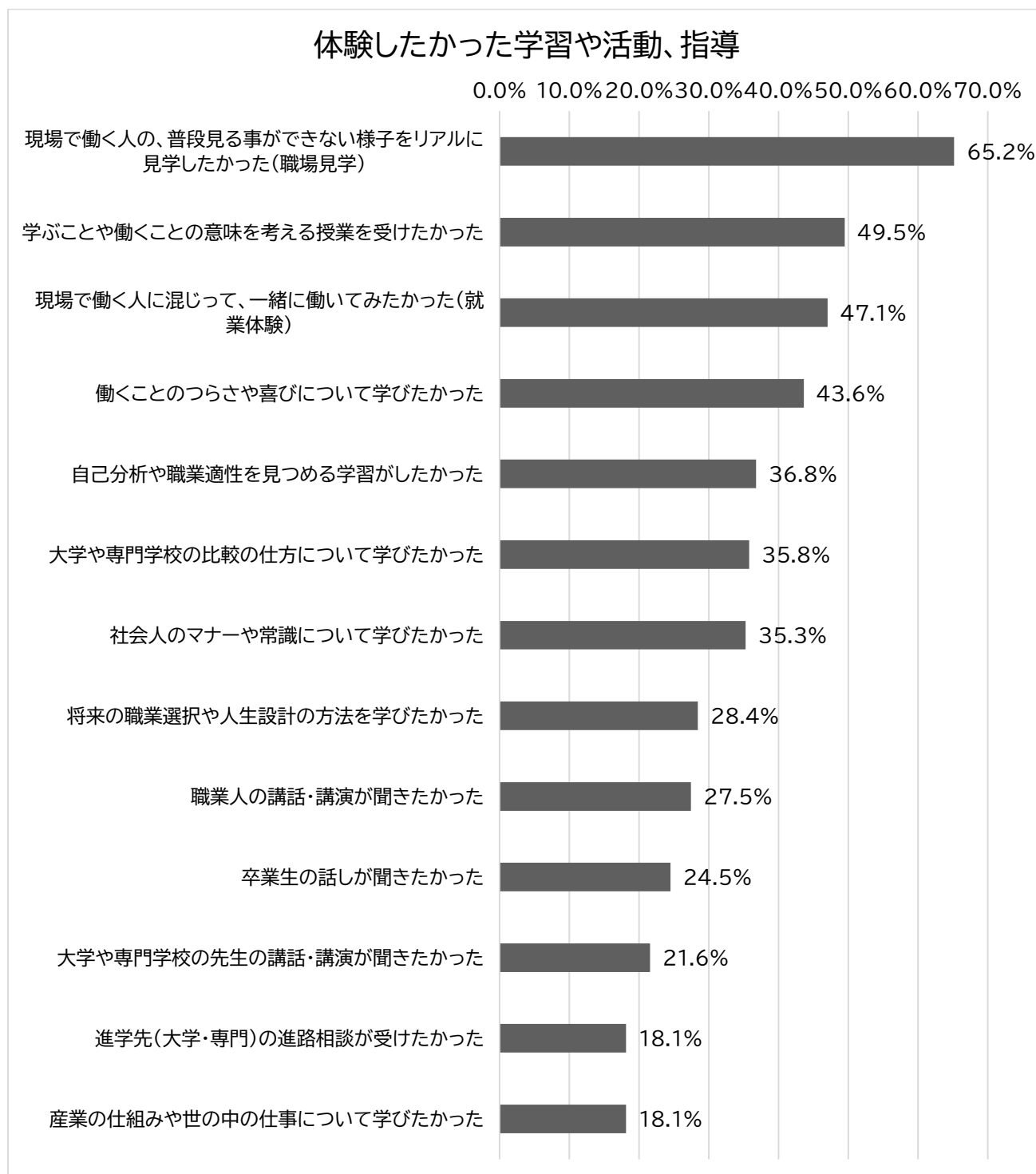
高校生活で日常的に行われている「高校の先生の話」「部活動」「委員会活動」を除いた、キャリア学習や活動・指導の評価は高く90%の学生が役立ったと回答した。また、大学専門学校間に大きな差はなかった。

「社会人のマナーや常識の学習」「オープンキャンパス」が特に高かった。「マナー研修」が高校からのニーズが高いことを裏付けている。



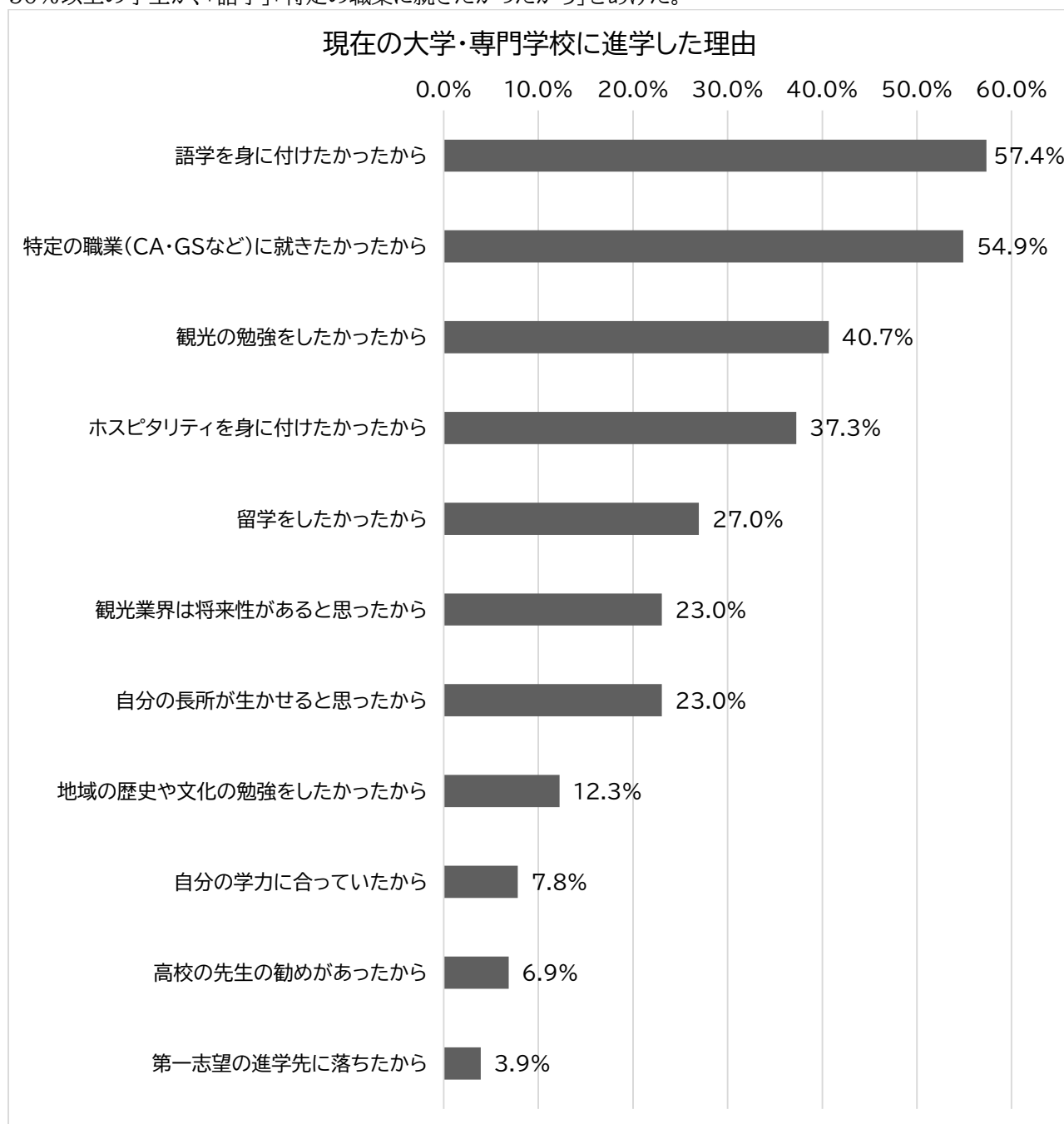
1.3 高校時代に、キャリアを考える上で体験したかった学習や活動、指導(複数選択)

「職場見学」が最も多く 65.2%の学生が挙げた。次いで、「学ぶことや働くことの意味」49.5%、「就業体験」47.1%、「働くことのつらさや喜びについて学びたかった」43.6%だった。



1.4 現在の大学・専門学校に進学した理由(複数選択)

50%以上の学生が、「語学」「特定の職業に就きたかったから」をあげた。

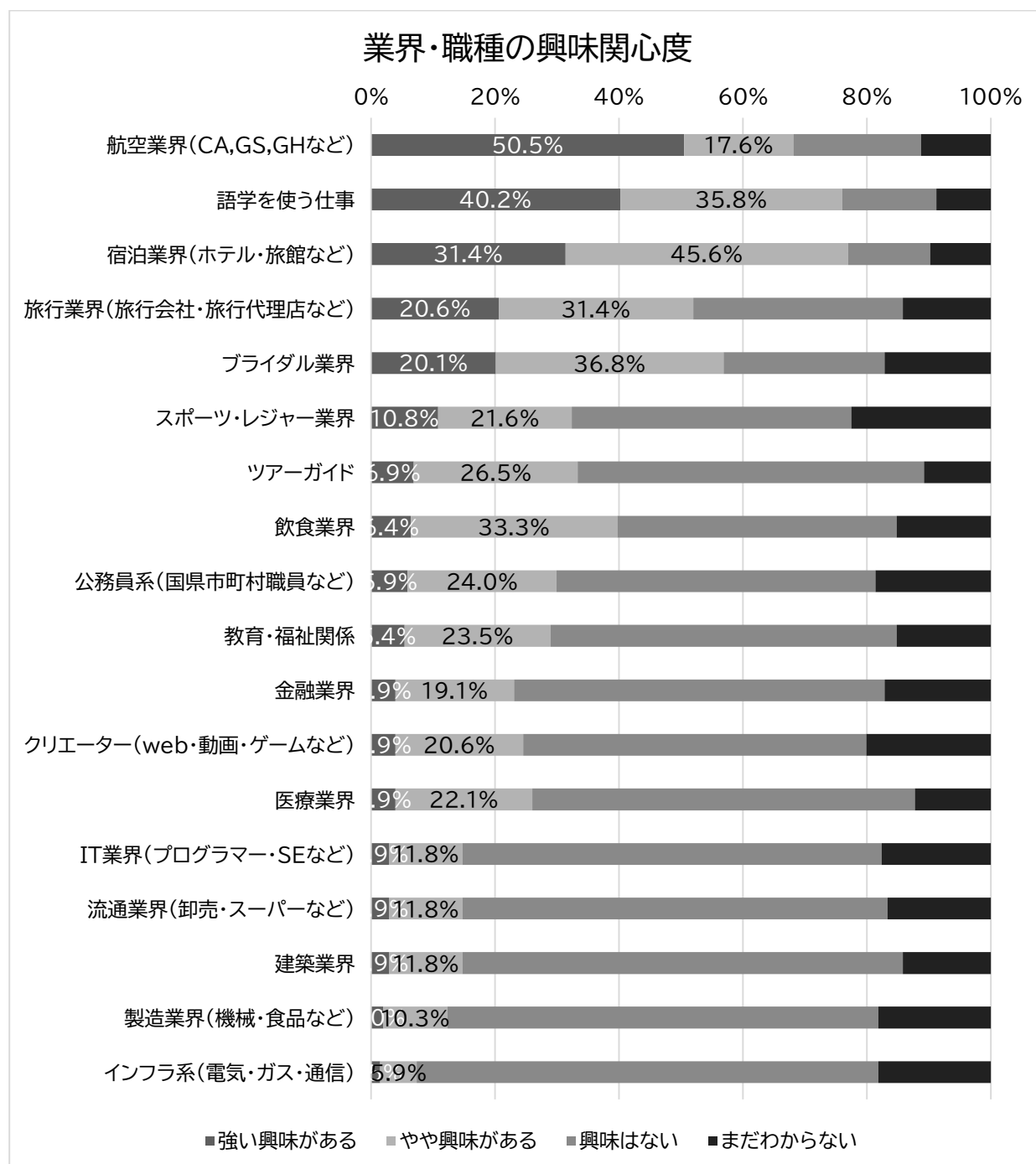


1.5 就職先として興味のある業界・職種

「強い希望がある」が20%を超えた業界・職種は、航空(50.5%)、語学(40.2%)、宿泊(31.4%)、旅行(20.6%)、ブライダル(20.1%)だった。

「やや興味がある」を合わせると、宿泊(77.0%)、語学(76.0%)、航空(68.1%)、ブライダル(56.9%)、旅行(52.0%)だった。

まだわからないのは、スポーツ・レジャー22.5%、クリエイター20.1%が高く、これから「興味がある」に変化する可能性がある。

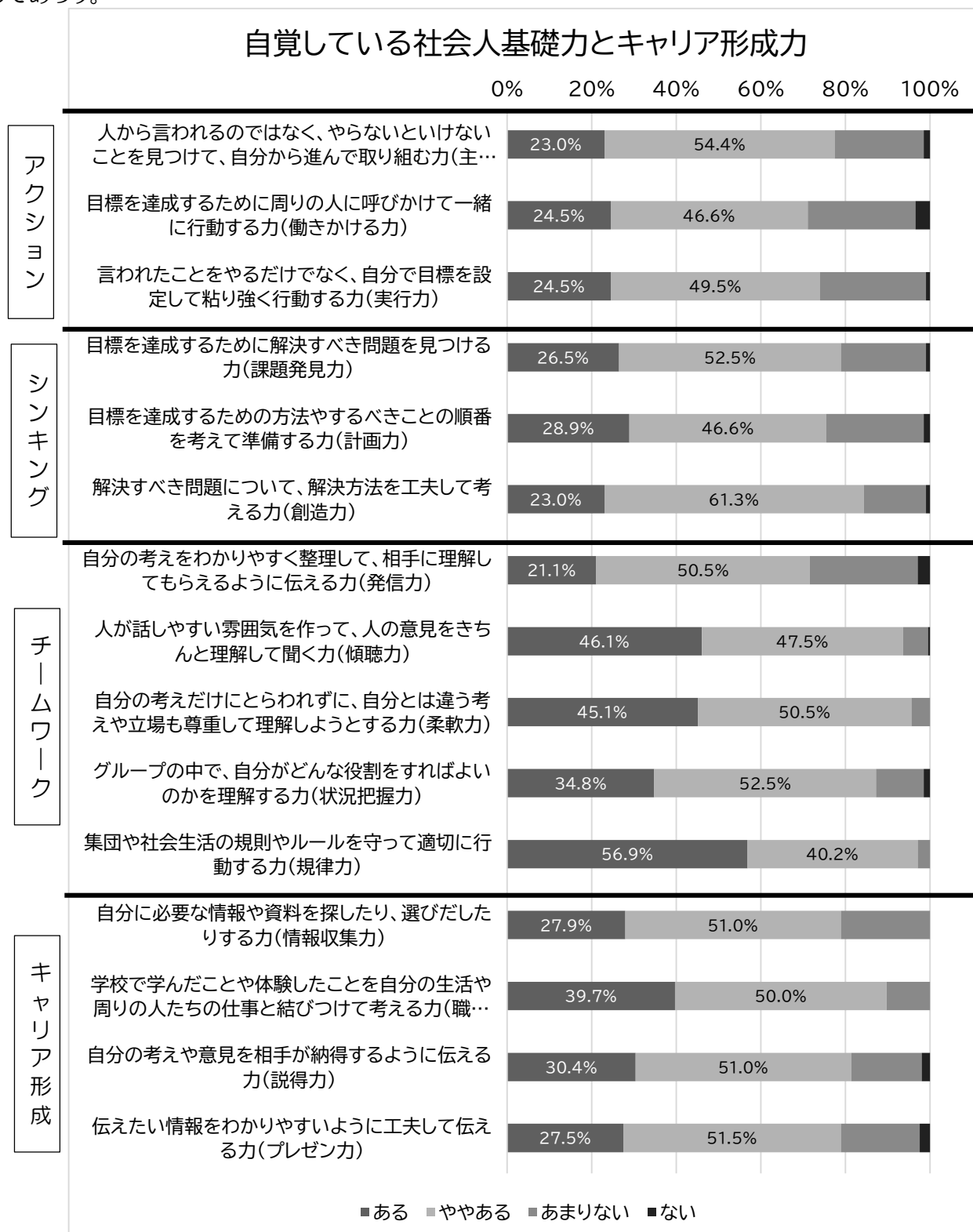


1.6 自覚している「社会人基礎力」と「キャリア形成力」

自覚している社会人基礎力とキャリア形成力は、「前に踏み出す力(アクション)」と「考え抜く力(シンキング)」が低く、「チームで働く力(チームワーク)」が相対的に高い。

特に低い基礎力は、「発信力」「創造力」であった。また、高い基礎力は、「規律力」「傾聴力」「柔軟力」「状況把握力」「職業理解力」だった。これは、高校までのチーム学習の成果が現れであろう。

今後、「前に踏み出す力(アクション)」と「考え抜く力(シンキング)」をいかに身に付けるかが教育課題になるであろう。



グループ面接調査編

観光系大学専門学校生のキャリア教育実態調査結果

1 沖縄キリスト教学院大学 グループ面接調査結果

1.1 調査概要

日時 令和6年11月11日 15:00～16:00
方法 グループ面接
対象 沖縄キリスト教学院大学 1年生
人数 9名(3名1グループ×3)
面接 仲宗根、広原

1.2 高校時代に、キャリアを考える上で一番役に立った学習や活動、指導などの体験

地域活動です。中城の津覇に根ざした伝統文化(津覇エイサー)を守る活動に参加し、進学して伝統文化について学びたいと思いました。

--

オープンキャンパスです。他学科の先輩と話して大学で何を学ぶか、自分は何を目指しているのかを固める事ができました。

--

高校の授業です。英語が好きだったので外国人に向けて「OKINAWA」をどう伝えていけばよいか、観光に興味を持ちました。

--

総合の時間でやっていた色々な職業に就く人のお話を聞く職業講話が一番役に立ちました。普段みることのない、知らなかった仕事を知る事ができて良かったです。

--

家族旅行です。旅行で宿泊するホテルによって特徴や印象が違いとても興味をもつことができました。それで、人を笑顔にする仕事や観光を勉強したいと思い進学しました。

--

オープンキャンパスです。グループで先輩の話を聞いて大学の雰囲気を知ることができました。また、大学の先生の体験講義を受けて、とてもわかりやすく、おもしろい！と思いました。

--

高校の授業です。もともと法律や経済系がいいかなとなんとなく思っていたのですが、政経の授業を受けてみて違うなと思いました。それで、少しでも興味がわきそうな学部を考えました。

--

高校のフィールドワークで行った勝連城跡などで沖縄の歴史を学ぶうちに観光に興味を持ちました。

--

校内活動では職業講話、校外活動ではオープンキャンパスやフィールドワーク、個人活動では地域活動や旅行などが挙げた。校外活動に共通することは、「体験」による体感刺激でありキャリア形成に大きなインパクトを与えている。

1.3 高校時代に、キャリアを考える上で一番体験したかったこと

クラスでなりたい職業の希望を聞いて、その職業に就いている人の話を聞ける時間があつたらいいなと思います。

--

オープンキャンパスで、ホームページやパンフレットに載っていないような講義の雰囲気や進め方、大学や学生の雰囲気を在学中の先輩から聞きたかったです。

--

できるかどうかは別にして、高校に各大学の人が集まって一度に比較できるような会があればいいなと思います。

--

希望する仕事現場の見学や体験をしたかったです。

--

全ての大学のオープンキャンパスに行ってそれぞれの大学の比較をしたかったです。

--

総合の時間で適職診断とか自己分析などをやりましたが、あーそうなんだと思っただけで、結果を次につなげる活動がなかったのが残念です。できれば、診断や分析結果を一步深める職場見学や職業調べなどがあればよかったです。

--

例えば、ホテルで働くことの良い点(やりがいとか)だけでなく、悪い点(きつき、つらさなど)を働いている人から直接聞きたいです。これは、高校の時だけでなく今でも聞きたいです。

--

キャリアの大まかな選択に際しては職業人による講話や見学などの体験を求めている。進路の選択に際しては職業体験を求めている。これらは、情報を「自分ごと」に落とし込む体験、つまり、『未知の世界に自分を置く迫体験』を求めているといえる。

1.4 これからの大学生活でジョブシャドーイングをしたら、どんな職業で体験したいですか

ツアーガイドさんについてシャドーイングがしたいです。コミュニケーションの取り方や専門知識の深さ、大変さ、楽しさやおもしろさなどを肌で感じてみたいです。

--

企業や官庁、消費者にモノやサービスを売る、営業職がみてみたいです。管理職の仕事などにも興味があります。

--

ホテルや旅行者などだいたい何をしているか想像がつく仕事ではなく、観光地を裏から支えている普通見ることができない職業を見てみたいです。

--

CAに興味があるので、機内での仕事以外の地上での仕事を見てみたいです。

--

CA以外の空港に関連する仕事や通訳ガイドの職業を見てみたいです。

--

バスガイドやツアーガイドの仕事をみて、おもてなしの心がどう行動に表れているかを観察したいです。

--

リゾートホテルのフロントやベルマンがアルバイトでは体験できないと思うのでシャドーイングがしてみたいです。

ツアーガイド、ホテル(フロント・ベルマンなど)、CAの地上業務、観光地を支える職業、ガイドなど、幅広い職業が挙げられた。

ジョブシャドーイングは、「のぞき見」感覚で様々な職種を「体感」することを求めている。

1.5 これからの大学生活でインターンシップをしたら、どんな職業で体験したいですか

ホテルの仕事は是非経験したいです。とくに裏を知りたい。

--

GSを経験したいです。

--

リゾートホテルに興味がありますが、家から近い場所がいいです。

--

もともと広告に興味があったので、広告代理店や印刷会社でインターンシップしてみたいです。

--

ホテル、GS、広告代理店が挙がった。
インターンシップは、特定の企業や業界の「雰囲気体験」を求めている。

1.6 その他(就職をする際に重視したいことを3つ教えてください)

安定性、給料、将来性です

--

仕事内容、職場の雰囲気、給料です

--

働きやすさ(雰囲気や福利厚生)、休みや残業、キャリアアップです。

--

やりがい、給料、福利厚生です。

--

給料、仕事の楽しさ、場所(沖縄県内のみ)です。

--

ひとつのところで長く続けたいと思っているので長く働けそうなところ、場所(日本国内)、給料です。

--

2 インターナショナルリゾートカレッジ グループ面接調査結果

2.1 調査概要

日時 令和6年12月13日 13:15~14:20
方法 グループ面接
対象 インターナショナルリゾートカレッジ 1年生
人数 9名(3名1グループ×3)
面接 仲宗根、広原

2.2 高校時代に、キャリアを考える上で一番役に立った学習や活動、指導などの体験

オープンキャンパスです。学校の雰囲気を体感することができました。先輩の生の声が聞けて良かったです。

--

ホテルにいろいろな大学が集まって話しが聞ける機会と、OCではなく個別相談会が役に立ちました。パンフやSNSだけではわからない雰囲気がよくわかりました。先生の学生の近さとか日常感がわかります。

--

オープンキャンパスや空港見学です。CAに関する職業内容もよくわかりました。

--

OCが役に立ちました。もともとブライダルやホテルに興味があったのでOCにいくつか行きました。OCでは先生と生徒の仲の良さ、充実した設備など専門学校の雰囲気を知ることができました。

--

航空業界に興味があったのでネットで調べたことが役に立ちました。いろいろなところを調べました。

--

OCです。私はブライダルに興味があったのでOCにきて設備にびっくりしました。

--

OCです。県外の専門学校を探していて3箇所くらい候補を絞ってOCに参加しました。

--

OCが役に立ちました。OCでは施設の見学ができて良かったです。

キャリアを考える上では、印刷物や動画から視聴するものよりも、その場の「雰囲気」がわかる生の体験が重要であることがわかった。中でも自分をその場に置く「臨場感」体験が役立っている。

2.3 高校時代に、キャリアを考える上で一番体験したかったこと

自分の興味のある業界が勉強できる授業があればよかったなと思います。たとえば、実際の見学をして雰囲気を感じることができたらよかったと思います。

--

業界や職場の現実がわかる見学があればよかったです。

--

高校時代は見学して雰囲気を知ったりしたかったです。

--

自分がやりたいことがわからない人のために企業研究をする前に世の中の仕事や企業について知る機会があればよいと思います。

--

キャリアとは少し違いますが、進学する高校によって将来の職業の選択肢が大きく変わってきます。ですので、中学で高校を選ぶときに大まかな進路を考えるような勉強があるといいと思います。

--

私の通った高校はみんなが大学に行くのが当たり前の高校だったので、キャリアや職業を考える授業がありませんでした。少しでもあったらよかったです。進路指導室にも大学の資料しかありませんでした。

--

高校時代は、敬語の使い方などのマナー研修が役に立つと思います。

--

進路がしぼれない層への対応を望む声があった。

自分が何をしたいのかがわからない、進路をどう選べばよいのかわからない、進路をしぼりきれない層にどうキャリアプランニングのきっかけを作っていけるかという、重要な課題が改めて提示された。

2.4 これからの学生生活でジョブシャドーイングをしたら、どんな職業で体験したいですか

アパレルの仕事を体験したいです。話し方とか、お客様への商品のおすすめの仕方などコミュニケーションの取り方を学びたいです。

--

GSをしたいです。幅広い年代の方々へのコミュニケーションを学びたいです。

--

CAをしたいです。地上勤務を見てみたいです。

--

すでに志望する職業に関する多くの現場を体験させてもらっているので特に希望はありません。

2.5 これからの学生生活でインターンシップをしたら、どんな職業で体験したいですか

CAを経験したいです。自分に足りないところを知りたいです。

--

ブライダル業界でインターンシップをしたいです。どう人を喜ばせ、どう感動をどう与えているのか体験したいです。

--

すでに志望する職業に関する多くの現場を体験させてもらっているので特に希望はありません。

多くは本人が希望する業界や特定職種を希望した。一方、業界は異なるがホスピタリティや接客が共通するアパレルやブライダルを希望する声もあった。

企業や業界軸だけでなく、「接客」「営業」「事務」など職種軸で企業・業界を横断的に体感・体験するキャリアプログラムも可能性としてあり得ることがわかった。

2.6 その他(中学生・高校生の時に行った職場体験を教えてください)

中学1年のときにモスバーガーにいきました。衛生面に気をつけながら自分用のハンバーガーをつくりました。実際に厨房に立ったのは2時間くらいだったとおもいます。

--

中学1年のときにモスバーガーに3日間いきました。印象に残っているのは挨拶をしっかりすることです。

--

中学校で、保育園にいきました。園児と一緒に過ごし、散歩をしたり、給食を食べたりしました。お昼寝の時間は、イベントの準備をしました。

--

映画館に3日間いきました。1日目は実際に映画を見て客として映画館を体験して、2日目と3日目は、清掃や商品の陳列、接客など従業員の人について仕事を体験しました。

--

同じく中学1年のときにエンダーに3日間いきました。実際にパテを焼いたり、ハンバーガーをつくったり、お客様に商品をもっていったりしました。

--

私は中学校では保育園に3日間、高校でモスに3、4日間いきました。よかったことは、私には保育士はできないことがわかったことです。

職場体験は中学一年のメインイベント、中学2年は修学旅行、中学3年は受験のような流れで、楽しむイベントになっていたのも、将来の仕事選びに影響はしなかったです。

--

高校の時は、動物病院の見学を1日しました。電話対応や窓口対応、診察室以外の見学をしました。

中学の職場体験は1年生の行事で、調査した中ではバーガーショップと保育園しか挙がらなかった。高校の職場体験は行われていない学生が多かったが、これはコロナの影響であろう。

中学高校の職場体験は、特別活動の行事として印象に残っており、今回の調査ではその後の職業観やキャリア形成に大きな影響を与えていないことがわかった。